　　　　　　　　　　　　平成２８年度

特定非営利活動法人　　自然回復を試みる会・ビオトープ孟子

総会資料（議事録）

　　　　　　日時　　平成２９年　６月２５日（日）　10:00～12:00

　　　　　　場所　　海南市わんぱく公園風の子館（創作工房）

　　　　　　（参加者・敬称略）

　　　　　　　　北原（理事長）、丸嶋（理事）、住野（理事）木原、山田

　　　　　　　　藤井、有本（理事）

　　　　　　（記録）

　　　　　　　　有本（理事）

　　　　　　　　　　　　　　　　　総　会　日　程

1. 理事長挨拶
2. 議長選出
3. 議題
4. 平成２８年度事業報告について
5. 平成２８年度決算報告について
6. 監査報告について
7. 平成２９年度事業計画について
8. 平成２９年度予算案について
9. その他
10. 平成２８年度事業報告及び決算報告
11. 法人独自事業

　　　・第17回こがねぐも相撲大会INわんぱく公園　平成28年7月10日　　17名参加

　　　　　　　大会運営：県立向陽中学理科部

　　　・七草粥・小豆粥（わんぱく公園にて）　　　　平成29年1月7日　　　59名参加

　　　・チームエナセーブ事業

ダンロップ田植え体験　　　　　　平成28年6月12日　　　　　76名参加

　　　　　　住友ゴム工業株式会社と公益社団法人日本ユネスコ協会連盟により結成さ

　　　　　　れた「チーム　エナセーブ未来プロジェクト」の一環として、一般参加者、

ダンロップ、日本ユネスコ協会連盟併せて76名が参加され盛大に開催され

ました。

・未来遺産プロジェクト　県立向陽中学理科部

　　　　（テーマ）孟子不動谷の哺乳類調査

　　　　（実施内容）平成28年4月～平成29年2月の間１回/月のスパンで調査を行いました。

　　　　　　　　　　平成28年4月～平成28年11月・・・不動谷内で哺乳類の痕跡調査

　　　　　　　　　　平成28年12月～平成29年2月・・・向陽中学情報処理室で調査のデータ

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　整理及び、第6回生物多様性フォー

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ラム発表用のＰＰＴ作成

　　（２）助成事業

　Ⅰ、　あいおいニッセイ損保助成

　　　　花王みんなの森づくり助成

　　　　独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金助成

* 1. 日本ユネスコ協会連盟プロジェクト未来遺産第５回生物多様性フォーラム

（開催日時）平成29年3月26日　　　　１３時

（会場）中貴志コミュニティーセンター

（参加者）162名

（開催内容）

　　((調査研究発表))

　　　　　　海南市わんぱくクラブ・もうこさとやまようちえん

　　　　　　県立向陽中学校理科部（孟子不動谷哺乳類痕跡調査結果発表）

　　　　　　和歌山大学システム工学部（孟子不動谷のトンボ相について）

　　((話題提供))

　　　　　　岡田和久氏（和歌山県庁自然環境室長）

　　((パネルディスカッション))

　　　　　　コーディネーター　湯崎真梨子和歌山大学教授

　　　　　　パネラー　　　　　中島敦司和歌山大学教授

　　　　　　　　　　　　　　　原　祐二和歌山大学准教授

　　　　　　　　　　　　　　　志場久起和歌山NPOセンター副理事長

　　　　　　　　　　　　　　　有本　智ビオトープ孟子理事

　Ⅱ、独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金助成

（未来遺産登録地孟子不動谷トンボ相復活＆人材育成事業）

　　（事業目的・概要）

1. 孟子不動谷が、未来遺産登録地となった主要因の一つである孟子不動谷の豊か

なトンボ相の保全

1. 県下の国立大学である和歌山大学との協働による若いトンボ類調査員の育成

　　（事業場所）

　　　　和歌山県海南市孟子不動谷

　　（事業の概要）

　　　　平成10年2月設立以降孟子不動谷内耕作放棄地を地権者より借り受けていたもの

　　　　の、活用しきれていなかった耕作放棄地を「夏水冬水田んぼ」的な水辺ビオトープ

としての圃場整備を行いました。その結果、平成29年2月、カスミサンショウオ

６、ニホンアカガエル７５の卵塊の産卵を確認できました。

　　　　また、昨年度に引き続き国立大学法人和歌山大学システム工学部環境システム学科

1. ２年生に参集を頂き、孟子不動谷のトンボ類の現地調査活動と、トンボ類の

分類方法の講習会を行いました。研究結果については、平成29年3月26日開催の

生物多様性フォーラム席上で発表を行いました。

Ⅲ、経団連自然保護基金（未来遺産登録地孟子不動谷における放置水田の湿地ﾋﾞｵﾄｰﾌﾟ化）

　　（事業目的）・平成２６年度の経団連自然保護基金事業を契機に発足し継続している和歌

　　　　　　　　 山大学システム工学部生による調査研究活動に地元の小学生・幼稚園児等

　　　　　　　　 幼年期の子ども達を巻き込んだ環境教育・里山ふれあい活動として発展さ

　　　　　　　　 せることにより身近な自然に親しみ、生物多様性保全の重要性をしっかり

　　　　　　　　 と理解した若い世代の育成に寄与する。

　　　　　　　 ・ビオトープ孟子が地元地権者の皆様より借用している土地のうち、現在活

　　　　　　　　 用がなされず、このまま放置すれば樹林化してしまう耕作放棄地約２０a

　　　　　　　　 を、浅く水が溜まる湿地ビオトープ（なつみず・ふゆみずたんぼ）として

　　　　　　　　 創成する。

　　　　　　　 ・平成２８年１０月　１日開催された第２７回全国トンボ・市民サミット和

歌山大会のエクスカーション地として開放することにより、来場者に孟子

不動谷のポテンシャルの高さと、それを維持するためのビオトープ孟子独

自の自然保護活動を周知すること。

　　（事業箇所）海南市孟子不動谷

* + 1. 第27回全国トンボ・市民サミット和歌山大会のエクスカーション

　　　　　　　　　　　　　地としての活用

　　　　　　　　　　　　（概要説明）

　　　　　　　　　　　　　平成２８年１０月１日、第27回全国トンボ・市民サミット和歌山

　　　　　　　　　　　　　大会エクスカーションが、日本全国から９０名超の参加者を迎え海

南市孟子不動谷で開催しました。

・孟子不動谷現地視察会

　孟子不動谷の水辺ビオトープ施設の視察を行いました。同日、調

査活動を行っていた和歌山大学トンボ調査チームの学生の皆さん

　が捕獲した日本（瀬戸内海沿岸地域）特産種のナニワトンボ（と

んぼ科）を参加者全員に見てもらうことができ、一同大喜びでし

た。

・懇親会

　　現地視察のあと、孟子里山記念館「山案山子」の中で懇親会を

　　行いました。孟子不動谷のトンボ相と、平成２２年度日本ユネ

　　スコ協会連盟プロジェクト未来遺産登録を機に開始・継続して

　　いる子ども達の未来遺産運動の内容について説明をさせていた

　　だきました。

* + 1. 湿地性生物保全のための環境整備
    2. 湿地ビオトープ周辺のトンボ類のモニタリング
    3. トンボ類・両生類モニタリングチーム継続

　Ⅳ、花王みんなの森づくり活動（孟子不動谷生物多様性活性化プロジェクト

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　～伝えよう未来に、広めよう地域に～）

　　（事業目的）・植樹活動：同会法人が地権者より借用しクヌギ若齢樹を植樹

　　　　　　　 ・環境教育活動：生き物と生き物の関係を理解した森づくり

　　（事業箇所）海南市孟子不動谷

　　　　平成28年3月～平成29年2月　　孟子不動谷の哺乳類の痕跡調査（向陽中学）  
平成29年3月19日　　　　　　　孟子不動谷にクヌギの植樹（わんぱくＡ活動日）

　　　　平成29年3月26日　　　　　　　第6回生物多様性フォーラム（かがやきホール）

　Ⅴ、里地・里山環境保全推進事業認証団体として登録

　　　平成２８年度に施行された「生物多様性和歌山戦略」の中の「里地里山保全」の取り組み

　　　の一環として、平成２８年１１月に施行された「里地・里山環境保全推進事業補助金交付

　　　要綱」に則った「里地・里山環境保全推進事業認証団体」としてビオトープ孟子が選出さ

　　　れました。認証団体は、平成２８年度（平成２８年１１月～平成２９年３月）から３カ年

　　　の間継続されます。

　　（平成２８年度）

　　　　初年度は、孟子不動谷内で地権者の皆様に借用している土地のうち耕作放棄地のままで

　　　　活用していなかったエリアに圃場整備を施し、「なつみず・ふゆみずたんぼ」的は水辺ビ

　　　　オトープを創成する活動と、平成２９年３月２６日に開催した「生物多様性フォーラム」

　　　　の運営資金の中で上記した助成金で賄い切れなかった部分を補填する形で助成金額を活

　　　　用させていただきました。

（３）指定管理事業

　　　　　　　(株)丸山組との業務連携により、海南市わんぱく公園の管理運営業務を行いました。

　　　　　　　　（業務期間）　平成２８年　４月　１日～平成２９年　３月３１日

　　　　　　　　（体制）　　顧問　　北原敏秀

　　　　　　　　　　　　　　園長　　有本　智

　　　　　　　　　　　　　　GM　　北原実恵子

　　　　　　　　　　　　　　事務職員　偉士大　郁子

　　　　　　　　　　　　　　植栽職員　山本昌寛、嶋田　實

　　　　　　　　　　　　　　NPO職員 樫尾弘子、土橋雅子、山鷲仁

　　　　　　　　（業務内容）　公園施設の運営管理（建物設備管理、植栽管理等）

　　　　　　　　　　　　　　　イベント運営（定例イベント、自主イベントその他）

　　　　　　　　　　　　　　　わんぱく公園友の会運営

　　　　　　　　　　　　　　　わんぱくクラブ運営

1. 和歌山県環境学習アドバイザ委託事業（有本理事）

平成28年4月19日　 県立向陽中学校2年生遠足受入

平成28年6月9日　　海南市立北野上小学校環境学習受入

平成28年6月15日　 和歌山森づくり塾講師

平成28年7月21日　 岩出市立岩出小学校ビオトープ作り指導

平成28年8月19日　 紀の川市立安楽川小学校水路の生き物調査指導

平成28年8月31日　 紀の川市立中貴志小学校水路の生き物調査指導

平成28年9月5日　　海南市立北野上小学校田んぼの生き物調査指導

平成28年10月16日　和歌山ユネスコ協会日帰りキャンプ受入

平成28年11月8日　 海南市立北野上小学校環境学習受入

平成29年1月9日　　「和歌山県の人と自然をつなぐシンポジウム

　　　　　　　　　　　　VOL-1」講師

平成29年1月30日　 和歌山県緑化功労賞審査員として審査依頼

平成29年2月22日　 紀の川市立中貴志小学校環境学習

平成29年3月4日　　はしもと里山学校調査方針会議出席

　　　　　　　　　　　平成28年11月、生物多様性和歌山戦略（平成28年度施行）に付随し

　　　　　　　　　　　てできた登録制度「里地・里山環境保全活動団体認証制度」に係る認証

　　　　　　　　　　　地に海南市孟子不動谷が選定されたことにより、平成29年度より同制

度の承認団体に選定された「はしもと里山学校」の昆虫調査方法を決定

する和歌山県自然環境室担当者を伴った会議に出席しました。はしもと

里山学校には、定期的に生き物ふれあい体験をする中学生のグループが

あるようなので、その中学生の皆さんと一緒にチョウの調査を１年間行

い、その調査結果を平成29年度の生物多様性フォーラムで発表すること

になり、平成29年4月～10月の7回有本理事が現地（橋本市柱谷地区芋

谷）に赴き、チョウの調査を行うことになりました。

（現行決定している調査日程）

　　　　　　　　　　　・平成29年4月16日　　橋本柱谷地区チョウ調査

　　　　　　　　　　　・平成29年5月14日　　橋本柱谷地区チョウ調査

　　　　　　　　　　　・平成29年6月17日　　橋本柱谷地区チョウ調査

２、決算報告

　　別添資料を参照してください。

1. 監査報告

平成28年度の監査報告をさせていただきます。

特定非営利活動法人自然回復を試みる会・ビオトープ孟子事務局において平成２８年度の出納関係の資料を下記日程にて確認したところ、内容について決算報告させていただいた内容と相違ありませんでした。

　　　　　　　　　　　　会計監査日　　平成２９年　５月　１日

　　　　　　　　　　　　監査担当　　　監事　北原実恵子

４、平成２９年度事業計画について

1. 未来遺産プロジェクト　和歌山県立向陽中学理科部

　　　　今年度は、孟子不動谷の鳥類のラインセンサス法による生息調査を行います。基本１回/

月のスパンで行い記録蓄積を行います。年度末及び年度当初には、生物多様性フォーラム

での発表を行います。

1. 法人独自イベント

　　ダンロップ田植え体験　　　　　　平成29年6月11日

　　　　　今年度は、住友ゴム工業株式会社と公益社団法人日本ユネスコ協会連盟により結成さ

　　　　　れた「チーム　エナセーブ未来プロジェクト」の一環として、一般参加者、ダンロップ、

日本ユネスコ協会併せて75名が参加され盛大に開催されました。

　　　　第18回こがねぐも相撲大会　 平成29年7月9日 （於）海南市わんぱく公園

1. わんぱく公園イベント

　　　　定例イベント　毎週日曜13時　押し花等　　　外部講師・公園職員

　　　　恒例イベント　毎週土日　　　ウルトラクイズ

　　　　　　　　　　　毎週土日　　　じゃんけんぽん　ビンゴゲーム大会

　　　　わんぱくクラブ運営

　　　　　（わんぱくクラブAチーム）構成員16名

　　　　　　　わんぱく公園内で、園内の遊歩道沿いの樹木に名前札を設置したり、公園内の昆虫

のスケッチを行います。

　　　　　（わんぱくクラブＢチーム）構成員26名

　　　　　　　平成２６年度から新設したチームです。未来遺産登録地・孟子不動谷で自然観察

　　　　　　　を行い、１年間の活動の感想を「生物多様性フォーラム」で発表することを目的

　　　　　　　として活動を行います。平成２９年度は、コウチュウ類の観察を行っています。

　　　　　（もうこさとやまようちえん）構成員16名

　　　　　　　平成２７年度から新設したチームです。幼稚園児を対象に募集を行い、未来遺産

　　　　　　　登録地・孟子不動谷で自然観察を行うチームです。身近な自然環境である里山に

　　　　　　　触れ合い、そこに住む動植物と戯れる経験は、出来る限り幼い時期から始める方

　　　　　　　が効果が高いため新設しました。

　　　　わんぱく友の会運営　構成員78名

　　　　　　　今年度は、「タケノコ掘り体験」「桃ジャム作り体験」「しいたけ菌植え」

　　　　　　　「正月飾り作り」の４つの体験を行います。

1. 大学、高校との協働事業

　　　　　和歌山大学システム工学部トンボ調査チーム

　　　　　　今年度の地球環境基金助成はありませんが、大学生のトンボ調査はそのまま

　　　　　　継続することになりました。

1. 高野山奥ノ院御廟用黒炭焼き事業

平成29年当初より、未来遺産登録地・高野山奥ノ院の御廟用黒炭焼きの事業が開

始されています。炭焼担当の住野理事をはじめ10名の地元住民の方々がチームを

編成し対応中で、平成29年度は木の国協議会主催の林野庁助成制度に、御廟用黒

炭材（クヌギ、アラカシ）の確保を視野に入れた3カ年の森林整備の事業を申請中

です。

1. 助成金事業

（交付決定分）

　・平成２９年度里地・里山環境保全推進事業

平成28年11月、生物多様性和歌山戦略（平成28年度施行）に付随し

　　　てできた登録制度「里地・里山環境保全活動団体認証制度」に係る認証

　　　地に海南市孟子不動谷が選定されたことによる事業です。原則として、

　　　向陽中学、和歌山大学、わんぱくクラブにより継続中の「未来遺産運動」

　　　の運営資金として活用します。

　　　・木の国協議会森林・山村多面的機能発揮対策交付金

　　　　　地域住民のみなさんがグループを作り、森林資源の活用や里山環境の改善を目的に

　　　　　活動することにより、よりよい地域づくりを支援する林野庁の助成制度です。

　　　　　平成２９年度の事業として、高野山奥ノ院御廟用黒炭焼き事業を行うチームによる

　　　　　御廟用黒炭材（クヌギ・アラカシ）の確保を視野に入れた3カ年の森林整備の事業

　　　　　を申請し採択されました。

　　（申請中助成事業）

　　　・花王みんなの森づくり活動助成（平成29年8月、助成申請検討中）

　　　・あいおいニッセイ同和損保和歌山支部（継続申請は提出済）

　　　・子どもゆめ基金（平成29年5月申請書提出済・未来遺産運動への助成）

　　　・赤い羽根募金（平成29年8月申請開始予定。「ぽん菓子製造機」購入）

　　　・トヨタ財団基金（平成29年5月申請書提出済・未来遺産運動及び水辺ビオトープ創成）

1. 理事会　　　理事長が適宜理事会を招集します。
2. 実行委員会（役員・スタッフ・会員）

　　　　　理事長が適宜召集して開催します。

　　　　　原則として理事会の意味も包含します。

　　　　　（ただし、理事のみで議決を必要とする事項が発生したときには、理事長が別途理事

　　　　　　会を招集します。）

1. 総会　　　　平成３０年度当初に開催します。

　５、平成２７年度予算案について

　　　別添資料を参照してください。

６、その他

・田植え体験時の「早乙女衣装」３０着のクラウドファンディングによる購入を計画中

　ビオトープ孟子初夏の恒例行事である「田植え体験」が、（公社）日本ユネスコ協会連盟と住友ゴム株式会社（ダンロップ）の協働により形成された「チームエナセーブ未来プロジェクト」の参加により開催するようになって今年度で４年目になります。平成２８年度から「棚田むすびの会」の参加が無くなり途絶えてしまった「早乙女衣装による田植え」を復活させ、孟子不動谷の初夏の華やかな風物詩として田植え体験を位置付ける目的で、標記のような計画を検討中です。

（クラウドファンディングとは？）

不特定多数の人が通常インターネット経由で他の人々や組織に財源の提供や協力などを行うことを指す、群衆（crowd）と資金調達（funding）を組み合わせた造語である。ソーシャルファンディングとも呼ばれる。